

# 牧野(淀川上流)探鳥会 2016年8月度

2016.8.6 (第1土曜日)18:00~20:00 日本野鳥の会大阪支部 **ツバメのねぐら入り観察**  
 担当 南 茂夫、高井 常之、前田 初雄、甲田 照二、斎藤 健、西脇 淳浩、平 軍二(☎090-6901-1425)

8月、炎天下の河川敷コースを歩く第1日曜日の定例探鳥会は夏休み、その代わりに前日**6日土曜日の夕方、淀川の対岸鶴殿のねぐらに入る「ツバメのねぐら入り観察会」**です。

**1. 先月7月は清掃探鳥会** ゴミを拾いながらバードリスニングの清掃探鳥会、ウグイスの声が切れ目なし、シジュウカラも多かったが、期待して今月の鳥としたオオヨシキリなど、草原の鳥は少なかった。

スタート地点から穂谷川堤防は住宅地で歩く人もありゴミは多かったが、河川敷の探鳥コースは利用する人がサイクリング車・ランナー・バードウォッチャーで、思いのほかゴミが少なかった。枚方市の最高気温が34℃を超えた暑い日ではあったが、薄曇りで木陰にさわやかな風が通り、ゴミ拾いもそれほど苦にならなかった。



戦果→

**3. 今月はツバメのねぐら入り** 牧野探鳥会コースの淀川対岸は高槻市鶴殿、淀川河川敷内で最も大きなヨシ原です。そこに周辺で巣立ったツバメの若鳥や親鳥が、夕方、日の入り時間に集まてきますが、今年、鶴殿のねぐら場所が移動したのではないかとの情報があり、確認中です。

ツバメは右図のように、3月下旬ころ越冬地から大阪近郊に戻ってきて、民家の軒先などで巣作り・子育てをします。巣立ったツバメは巣に戻らなくなることを経験されていると思いますが、その頃ツバメはヨシ原などに集まり夜を過ごします。ツバメが集まる所を「ねぐら=埒」といいますが、大阪府北部では高槻市鶴殿、豊中市赤坂下池などにあります。

秋たけなわの10月、街中やねぐらにツバメの姿が見えなくなるのは、ツバメは南国の越冬地へ渡ったためです。

**4. カラスウリの開花** 牧野ツバメのねぐら観察会の定番となっている**おまけ**は、ねぐら入り前にカラスウリのつぼみを確認しておき、ねぐら入り終了(1時間ほど)後にカラスウリの花が咲いているところを観察することで



20150801 18:43



20150801 19:45

また、牧野探鳥会は他に比べ鳥が多いけれども、探鳥コースに**「トイレが無い・自転車がない」**の二重苦が、アキレス腱になっています。サイクリング車が一日数百台、猛スピードでひっきりなしに通過するので、**ぶつかる**と怪我をして痛い目に合うのは**バードウォッチャー**です。**前後左右**に目を配り、**「自転車から自分を守る」**ようお願いします。

4月		ツバメ来る (3月下旬~4月上旬)
5月		巣作り 年1~2回
		産卵 第1回5月 第2回6月
		抱卵 約2週間
6月		ヒナの世話 3週間
7月		巣立ち 第1回6月初 第2回7月初
8月		夜、ヨシ原に集まり 集団で眠る (8~9月)
9月		南へ帰る (9月~10月)

**5. 次回9月4日(日)9:00~14:00 通常の定例探鳥会**

残暑が厳しくても鳥の世界は秋、9月に入ると秋の渡り鳥が戻っており、林の中ではヒタキの仲間(コサメビタキなど)やムシクイの仲間(センダイムシクイなど)が期待できます。猛暑が続いていると思われるので、熱中症対策を充分にご参加ください。



160703 ゴミ拾いの横を自転車通過

